

こぶし



- 発行日／令和 8 年 3 月
- 発行／沼津市子ども会育成連絡協議会
- 編集／沼子連だより編集委員会
- 事務所／沼津市教育委員会事務局生涯学習課
☎055-934-4871
- 印刷／株式会社黎明社

スローガン

1. 私たち世話人は、より高く、より広く、次の世代を担う子どもたちの育成に努めます。
2. 私たち世話人は、子ども会指導者の確保と組織の強化に努力します。
3. 私たち世話人は、子ども会活動をより活発にするためボランティア精神に徹します。



令和元年に誕生した子ども達が、今年で早くも七才になります。親として最も密に子どもに関わる年数は人生の内でもわずかな年と言われています。その大事な時期に私たちはコロナ禍を経験しました。子ども達をとりまく様々な活動が止まりました。全てが変わりました。それでも子ども達の成長を止める事はできません。大人が創り出す社会環境の中で果たしてどんな体験をし、感動を覚え、元気に遊ぶことが出来たのでしょうか。そして私達大人は子ども達の心にどんな素敵な思い出を残してあげられたのでしょうか。

「インタビュー」

沼子連会長

東 隆 子



自分自身も思うような経験と研鑽を積むことはできません。加えてデジタル社会は見えない所で人の心に個人主義を植え付けている気がします。人の顔が見えない社会になりつつある中、大人達は子ども達をどう守ればいいのかでしょうか。時代の変遷に抗うことはできませんが、更に十年先を見据えて子ども達に寄り添う大事な時期でもあります。沼子連に携わる者として子ども達が「結の精神」の基自らの力で明るい未来をつかめるよう心から願っています。そして、この「こぶし」を通して子ども達の笑顔や輝きを感じていただけたら大変嬉しいです。



題字「こぶし」は
書家 井口八千喜女史筆



御挨拶

沼津市長

頼重秀一

沼津市子ども会育成連絡協議会におかれましては、日頃より子ども会活動の活性化、リー

ダーの育成など、多岐にわたり、子ども会活動の振興に御尽力を賜り、本市の青少年健全育成活動に大きく貢献いただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

活動を支えてくださる役員や保護者の皆様の日々の献身と、楽しく意欲的に子ども会活動に励む子どもたちの姿が、地域の力となっていると強く感じしております。

昨年11月に開催された球技大会を観戦する機会がありました。コートいっぱい広がる子どもたちの懸命なプレー、互いに声をかけ励まし合い、勝敗に一喜一憂しながらも仲間を思いやる姿勢に接し、仲間意識や協働の精神が確実に根付いていることを実感いたしました。

こうした日々の経験こそが、子どもたちの生きる力となり、地域の未来を支える基盤になると確信しております。

皆様を取り組んでおられる多様なプログラムや行事は、地域の結びつきと相互支援を深め、本市が進める「誇りとつながり」を大切にするまちづくりに直結するものであると改めて感じるとともに、その価値を、市としてもしっかりと受け止め、未来につないでまいります。

本市は、第5次沼津市総合計画が示す「人・まち・自然が調和し、躍動するまち」を基本理念とするとともに、住んでいて幸せを実感できるまちの実現を重要な目標に据えております。来年度からは後期推進計画が始まり、市政の諸施策を次の段階へと進める節目の年を迎えます。

この新たな時期にあたり、多岐にわたる地域の取組を大切に育てることで、世代を超えた支え合いの風土をさらに深め、沼津市全体の身体的・精神的・社会的な幸福度が向上することを願っております。

皆様の活動がこれからも子どもたちの成長を力強く支え、地域の誇りとなることを期待しております。引き続き御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、子どもたちの

明るい未来と、関係者の皆様の御健勝を心より祈念いたします。



「子どもたちの

ウェルビーイングをめざして」

沼津市教育長

奥村篤

日頃より、沼津市子ども会育成連絡協議会の皆様には、公私ともに御多忙にもかかわらず、本市の未来を担う子どもたちの健やかな成長のために、子ども会活動の充実・発展に御尽力を賜りまして、心から感謝申し上げます。

「砂の造形大会」や「球技大会」をはじめ、伝統行事の餅つきや地域の自然を活用した地引網などを体験する「クラブキッズ事業」など、皆様が開関する地域ならではの多彩な活動は、子どもたちにとって身体を動かし、自然と触れ合い、仲間と協働する貴重な体験の場となっております。これらの体験は、単なるスキル習得にとどまらず、判断力・協調性・自己肯定感などの非認知能力を高めるとともに、

心身の健康や社会的な充足感が満たされた状態、すなわち「ウェルビーイング」向上の基盤となります。

私たちを取り巻く社会は急速に変化し、価値観の多様化に加えて気候変動や自然災害といった新たな課題にも対応していくことが求められています。そうした状況の中で、実体験を通じて得られる学びに向かう力や挑戦する心、周囲を思いやる姿勢は、子どもたちが不確かな未来を切り拓くための大きな財産です。

教育委員会においては「誇り高い沼津を創造する 貴き志を持つ人づくり」の実現を今後も目指していく上で、「人間力を磨く教育」と「地域総がかりで取り組む教育」をさらに推進し、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを支える体制を強化していきます。多様な出会いや体験の機会を広げることにより、次世代のリーダーや地域を支える人材が育つことを期待しています。

子どもたちが好奇心をもつて様々なことに挑戦し、心弾む経験を重ねることで個々のウェルビーイングが高まります。その結果、家庭や地域全体の幸福感や満足度を高め、沼津市全体が一層活力あるまちになることを

確信しております。

皆様には、今後も変わらぬ御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、子ども会活動の更なる御発展と皆様の御健勝を心より祈念いたします。



シーカヤック体験



・クラブキッズでは「あそぶ」「楽しむ」をテーマに体験を通して「自分たちでもやってみよう!」という気持ちが芽生え、地域やそれぞれの子ども会でリーダーとして活躍してくれる事を願っています。

もちつき体験



令和7年度 クラブキッズ活動内容 2025年

- 7月20日(日) ・第1回「フレンドシップ」 ※青少年教育センター
- 9月21日(日) ・第2回「シーカヤック体験」 ※内浦海岸
- 11月30日(日) ・第3回「地引網体験」 ※原海岸
- 12月21日(日) ・第4回「クリスマス会」 ※青少年教育センター

2026年

- 2月 1日(日) ・第5回「餅つき体験」 ※青少年教育センター

君もクラブキッズへ参加しよう!

参加方法

沼津市在住の5・6年生が対象です。
4～5月頃に案内を配布します。子ども会を通じて申し込むか、生涯学習課に直接お申込み下さい。
また、見学もできます。場所は青少年教育センターで、時間は原則 9:00～12:00です。
見学ご希望の方は生涯学習課にお尋ね下さい。
生涯学習課：055-934-4871



こいのぼりフェスティバルに 今年も参加しました。 みんな大好き! 沼子連どろ団子作り



どろ団子

チャレンジランキング



第49回 砂の造形大会

令和7年6月8日
会場：沼津市志下海岸

大きな砂のイルカ

清水町 子ども育成連合会

六年 古門 芽依

「それでは、作品作りに取りかかってください。」

会長の一言で私は砂に輪かくを描き始めた。

輪かくを描き終わると、私はスコップを持ち、5、6年男子の砂を盛る手伝いを始めた。

砂を盛る作業は以外とむずかしかった。砂が重く運ぶのが大変だった。そして、砂がくずれないように水を調節しないといけないかった。さらに最もむずかしかったのが、形を整えるときだ。

なぜならば、砂はさらさらしていて、何度も何度も盛っても水の流れのように落ちていったからだ。じょうろでかける水の量が、少ないとガタツとなり、多いと土砂くずれのようになるのは面白かった。

貝がらは最初、目だけでいいと思っていた。しかし、となりのチームを見ると貝がらで上手くかめのこうらをつくってあったので、波のところに海らしさを出すために貝がらでかざりつけをした。

ついに完成した砂のイルカ。なかなかいい形になったと思う。

砂を形にするのはむずかしかったが、イルカが海から顔を出しているようにちゃんと見えた。

審査員特別賞ももらった。

チームのみんなとは学校もちがう子がほとんどで、話しかけるのも最初はちよつとはずかしかったけど、仲良くできたと思う。

最後に造ったイルカを思いきりみんなでこわしたのが最高におもしろく、みんなで笑っていた。

子どもの活動を 見られるよい機会を

開北校区 北高島町子ども会

世話人 久瀬 加奈子

去年に引き続き、今年も砂の造形大会へ世話人として参加しました。

娘に参加確認をすると、「やりたい！」

と、即答されました。去年、兄が参加していたのを覚えていたようで、自分が参加できるのをとても喜んでいました。砂浜で目一杯砂遊びができるのが楽しみな様子でした。

当日はくもり空、時折雨がぱらつく時もありましたが、子ども達は天候も気にせず、夢中で作品を造っていました。一年生

の娘には「上級生の言う事を聞いて行動するように」とだけ伝えましたが、それをしっかりと守り、周囲の子ども達と協力し合っている姿にとても成長を感じ、小学生のおねえさんになったんだなあ、としみじみ思いました。

毎日学校での出来事をいろいろと楽しそうに話してくれますが、実際に活動している姿をみられる機会はありませんので、親子で参加できるイベントはともありません。

今年も清水町の子供も達が参加したりと校区外の子供もとの交流機会も更に増えました。企画・運営するのはご苦労も多いと思いますが、今後も砂の造形大会が続いていくと嬉しいです。

初めての砂の造形大会

開北校区 本田町子ども会

世話人 宮田 有紀

砂の造形大会に初めて参加させて頂き、子供たちと一緒に砂の作品を造ることができてとても良い思い出ができたと思います。

練習当初は大人も一緒に助言しながらの作成でしたが、本番は大人は子供たちが作品を造るのを見守るだけと聞き大丈夫かなしつかりと造れるかどうか不安でしたがいざ本番が始まると子供たちは練習と同じようにスコップを使用し、土を盛ったり海に行つて水くみをして一人一人が一生懸命にキャップテンの指示に従って作品を造れており感動しました。どのように造るか分からない時は積極的にキャップテンに聞いていた所も素晴らしいです。

開北地区4チーム一丸となつて砂の作品を造れたおかげで、市長賞・沼津連会長賞・子ども大賞を4チームそれぞれ受賞できたのでとても嬉しく思います。また来年も砂の造形大会に参加したいと思います。



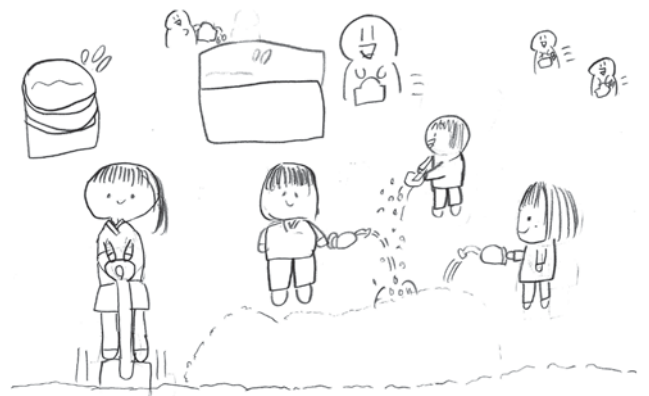
開北校区
北高島町子ども会

世はる子





賞	校 区	チ-ーム名	作 品 名
沼津市長賞	開 北	開北くじら	ホエール
教育長賞	片 浜	片浜っ子	カメカメ
沼子連 会 長 賞	開 北	イカスミ	ダイオウイカ
子ども大賞	開 北	開北くじら	ホエール
特 別 賞	開 北	Sand Club	進め!ウミガメくん
審 査 委 員 特 別 賞	開 北	FUTAZAWA	ヤドカリ
審 査 委 員 特 別 賞	清水町	みんなで助け合い	イルカはどこだ?



Children Play Kingdom in Numazu 2025

みんなで創ろう 遊びの世界 遊びは「心の宝物」

子どもの遊び王国

in 沼津 2025

10月5日(日)

ボランティア活動で 得たこと

桐陽高等学校

三年 石渡 雪乃

私は高校生活の中で部活動一筋で取り組んできました。

しかし引退を迎えたとき、これまでの活動は自分が楽しむためのものだったと考えました。そこで次は誰かのために活動したいと思い、今回初めてボランティアに参加しました。

最初は何をすればよいか分からず戸惑いましたが、勇気を出して積極的にお手伝いすることができました。

私はモルックのコーナーを担当しました。始めると、子供や保護者の方々が笑顔で参加してください、自分まで楽しい気持ちになりました。また、元気な子や恥ずかしがり屋の子など、様々な子供達と関わり、一人ひとりに寄り添うことでやりがいを感じる事ができました。そして、片付けの際も周りを見て積極的に行動することができました。

このボランティア活動を通して、最初は受け身だった自分になつたと実感しました。これからは自分のためだけでなく、誰

かのために積極的に動ける大人になれるようにしたいです。



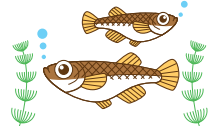
しゃぎり 田町ばやし

モルック

コマまわし



メダカすくい



スポーツ体験コーナー



モニュメント広場

- ・メダカすくい・ゴム跳び・コマまわし・けん玉
- ・わりばしテッポウ・紙の創作・カブラ・モルック
- ・シューティングゲーム・ペンシルバルーン
- ・ねんどこうさく・缶ポックリ・ごみの分別ゲーム
- ・握力測定・血管年齢測定・最終糖化物質測定
- ・ボーイスカウトと遊ぼう・ヘキサスロン
- ・クラフトコーナー・ペタンクティール体験
- ・ドレミファコーナー etc…

テニスコート

- ・30mダッシュ走・輪投げ・スピードガン
- ・キックターゲット・スポーツ体験コーナー
- ・ペットボトルボウリング・カローリング
- ・バスケットシュート・静岡ガス体験コーナー
- ・車両展示コーナー(消防車両・警察車両・自衛隊)

多目的競技場 放送室

- ・ダンス系eスポーツ体験

遊びのコーナー

私のある休日

桐陽高等学校

渡邊 ひなた

私は初めて子ども遊び王国に参加しました。

子どもが楽しめる小物を使った遊びや外で思いっきり遊ぶもの、さまざまなことができるのでとてもすてきだと思います。家族みんなが楽しんで思い出を作ってもらえたらいいなと思います。ボランテアをして、子どもと関わることはとても大変で慣れないところもあつたけれど優しく笑顔で接することを心がけてやりました。

何回も接客をしていくうちにだんだん楽しくなり、とてもやりがいを感じました。普段はこのような経験をすることがないので、とても勉強になりました。これから生かしていきたいです。

小さい子どもたちが楽しそうに遊んでいるところを見ると、自然と笑顔になりました。ボランテアは大変なことだけでなく、楽しみながらできたことが良かったなと思います。周りの人たちも優しく私たちのやる仕事を伝えてくれたおかげでもやりやすかったです。

いつかまたこのボランテア

ができればいいなと思います。私たちの力でお役に立てていれば幸いです。



ボランテア活動を 通して

桐陽高等学校

一年 野崎 愛花

今回のボランテアを通して私はコミュニケーションと自分から行動することの大切さを学びました。

最初は「自分は何をしたらいいいのか」とボランテアとして来たのに、中々役に立つことができませんでした。また、ゲームの説明やお客さんとのコミュニケーションも上手くできませんでした。

しかし、大人の方々は全てが上手でした。子どもたちも大人の方々の面白い説明で笑顔になったり、効率をあげるためのアイデアをすぐに実行したりと私にはないものを持っていると感じました。

私もそのような人になれるように今回学んだことを生かしていきたいです。参加させていただきありがとうございました。



わりばしテッポウ



紙の創作



ペットボトルボウリング

ペンシルバルーン

バスケットシュート

- 【主催】 沼津市青少年育成団体連絡協議会
沼津市PTA連絡協議会／ボーイスカウト沼津支部／ガールスカウト沼津地区連絡協議会／沼津市子ども会育成連絡協議会
NPO法人沼津市スポーツ協会沼津市スポーツ少年団
- 【共催】 沼津市教育委員会
- 【協賛】 明治安田生命保険相互会社／ミズノ株式会社／沼津駿河ライオンズクラブ／静岡県駿沼学校生活協同組合
社会福祉法人沼津市社会福祉協議会／東京海上日動火災保険株式会社
- 【後援】 沼津市自治会連合会／静岡県子ども会連合会／静岡県PTA連絡協議会／静岡第一テレビ／テレビ静岡／静岡朝日テレビ
静岡新聞社・静岡放送／コストFM／FMボイス・キュー／K-MIX／TOKAIケーブルネットワーク
- 【協力】 沼津市青少年育成推進員連絡会／沼津国際交流協会／静岡市PTA連絡協議会／（一社）アスクラロスポーツクラブ
駿東パタンクラブ／沼津警察署／静岡県警察音楽隊／駿東伊豆消防本部／沼津市クリーンセンター管理課／自衛隊
静岡ガス／田町ばやし育成保存会



令和7年度

沼津市子ども会球技大会

第64回 11月24日(月)祝日 沼津市総合体育館スポーツアリーナ

不安から乗りきった一勝

開北校区 沼北町子ども会

5年 佐藤 はな

三位決定戦の予選前、チームメイトはみんな不安そうな表情でした。

前半戦が終わった時には、僅差で負けていました。そこでまたわたしもチームメイトもさらに不安な表情になりました。それは、開北カップから一度も勝利したことがなかったからです。ついに休けいも終わり勝負の後半戦が始まりました。みんな一生けん命試合にのぞみました。後半戦は、二人しか当たりませんでした。さらに、たくさん当てました。その事によって見事逆転しました。

わたしも外野から内野にパスができるようにせいっぱい投げました。勝ったと分かったときは、みんな声を上げて喜びました。なぜわたしたちがこんなにあきらめずにがんばれたのかというと、役員さんやチームメイトが、

「がんばれ、ファイト!!」

と、応援してくれたからです。そして、わたしたちブルースカイチームは予選をつうかし三位決定戦へと進みました。

三位決定戦では、おしくも負

けてしまいました。ですが、球技大会に参加し、他のチームと対戦でき、とてもいいきかいになりました。

わたしはこの球技大会がありドッジボールがもっと好きになりました。

また来年も参加したいです。



初めての

ドッジボール大会

片浜校区 松長子ども会

6年 石原 雄正

ぼくは、初めてのドッジボール大会に出ました。

印象に残った試合は、二試合目と、四試合目です。

まず、二試合目は、対戦相手は、インビシブルでした。このチームは片浜小学校どうしで戦いました。練習では、ぜんぜん

勝てませんでした。でも前半は三対二で勝っていました。後半は、自分のチームがどんどん当たって二点差で勝ちました。このときは、すごくうれしかったです。

決勝戦までいって、またインビシブルと戦うことになりました。前半がはじまって、すぐに三人当てられてしまい三対一で負けそうになっていて、後半がはじまってまた四人当てられて大ピンチになりました。そうして多くのチームは負けてしまいました。すぐくやしかったです。来年は五年生が優勝してほしいです。

六年生でさいごのドッジボール大会で負けてしまったけど、たのしかったしすごく思い出になりました。



実りある球技大会

開北校区

世話人 峯 松 伸 子

十一月二十四日に第六十四回
沼津市球技大会が行われました。
今年の開北校区から三チーム
が出場しました。

少し緊張する中試合が始まる
と、大人でも尻込みする程の速



球を真正面から受けとめたり、
スツとかわしたり、迫力ある試
合展開に応援にも力が入りまし
た。

子ども同士でもファイブ
レーが起ると讚え合い、当た
ると励ましの声が拳がり、試合
を重ねることにチームも一体感
を増していききました。

全チーム総当たり戦で休憩す
る間もないハードな試合運びの
中、最後まで意欲的に参加した
子どもたち。終了後の写真撮影
での笑顔を見て、一人ひとりに
とってとても良い経験になった
と感じました。

参加チームは減りましたが、
今年も開催していただけたこと
に感謝しています。



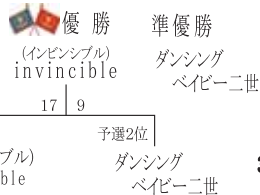
第64回 沼津市子ども会球技大会対戦結果

開催日 令和7年 11月24日(月) 会場 沼津市総合体育館
スポーツアリーナ

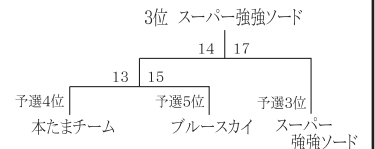
総当たり(予選)

	本たまチーム	ブルースカイ	(インビンシブル) invincible	スーパー 強強ソード	ダンシング ベイビー二世
本たまチーム (開北)	-	○ 19-16	● 13-19	△ 15-15	● 13-17
ブルースカイ (開北)	● 16-19	-	● 12-16	● 15-18	● 15-20
(インビンシブル) invincible (片浜)	○ 19-13	○ 16-12	-	○ 16-13	● 13-14
スーパー強強ソード (開北)	△ 15-15	○ 18-15	● 13-16	-	○ 18-17
ダンシングベイビー二世 (片浜)	○ 17-13	○ 20-15	○ 14-13	● 17-18	-

決勝戦



3位決定トーナメント



CLUB KIDS

★クラブキッズとは?★

- ・子ども会活動における小学生リーダーの育成を図る事を目的として年数回の研修を行います。
- ・クラブキッズでは「あそぶ」「楽しむ」をテーマに研修を行っています。この研修を通して「自分たちでもやってみよう!」という気持ちが芽生え、地域やそれぞれの子ども会でリーダーとして活躍してくれる事を願っています。

必死に引いた 地引きあみ

原校区

渡邊 結月

十一月三十日、やっとの思いでクラブキッズの地引きあみがありました。去年はとても楽しかったのもとても楽しかったです。今回は潮も波もなく、地引きあみ日和でした。漁師さんが船であみをかけてくれている間に焼きいもや、マシユマロを焼いて楽しく待っていました。

漁師さんの合図があつて、いよいよあみをひくときがきました。去年は後ろの方で引いていたけど、今年が一番前で引きました。あみのはじが近づいてくるにつれ、とても重くなっているのびびくりしました。足やうでが痛くなつたけどみんな息を合わせてがんばって引きました。どんどん魚が見えてきてわくわくしました。

ついに、あみが陸にあがつてきました。あみの中にはモンゴウイカや大きな甘鯛がとれました。それを漁師さんがさばいてくれました。イカがもう死んでいるのに細胞がまだ生きていて吸盤が舌にくっついて不思議でした。色々な事が学べました。

沼津の海

原校区原町子ども会

土屋 涼奈

地引き網をやる予定だったけど波が高くてできませんでした。残念がつてたら、沼津連の人たちが漁師さんをお願いしてもう一度別の日にやることになりました。

当日は天気もよく、波も静かで最高の天気と言っていました。漁師さんがしかけた網をみんなで一列に並び漁師さんの声かけで始めました。初めの方は全然力もいれず簡単に引きました。私は一番前の方だったので最後の方とてもつかれてとても大変になりました。

ただ手の力で引こうとしてもロープは戻ってしまうのでソールン節のように足を曲げてこしで引かなきゃダメなのが分かりました。漁師さんは全体で引いていたので服がびしょびしょでした。最後らへんはとても重かったです。漁師さんも、今回は重いと言っていました。どんな魚がいるのかワクワクしました。

網が見えてくると小さい魚がたくさん見えました。奥には、コウイカ・赤イカ・ヤリイカ・カサゴ・アンコウ・真ダイ・エ

地引き網

原校区原町子ども会

土屋 莉子

この前、地引き網をしました。二回引きました。一回目を引くときとても重かったです。引くのに30分もかかりました。

タイやエイ、カサゴなどが取れました。野生のエイをはじめ、とても大きいモンゴウイカや小さいタイなどがたくさん取れました。今回は、板前さんが来てくれて色々な料理を作ってくれました。モンゴウイカのおさしみがとてもおいしかったです。他にも、タイの塩焼きなども食べました。朝に準備したやきいもも、きれいにやけていました。

私が住んでいる原でタイやイカがとれると知りました。これからは魚が取れるように、海のかんきょうを守りたいです。



シーカヤック

大平小学校

五年 鈴 木 湊 人

ぼくは去年もシーカヤックにのりました。

去年はあまりうまくこげないでふらついていました。でも今年はずうまくできました。海水が顔にかかると冷たくてしょっぱかったです。シーカヤックに久しぶりにのったので不安だったけど徐々にうまくなって楽しかったです。

来年もシーカヤックに乗ると思うので覚えておきたいです。シーカヤックに乗って服がビチャビチャだったのでシャワーを浴びました。

その後ゆうらんせんのにのりました。風がふいてて気持ちよかったですし、景色もきれいでした。

そして帰ってきたら、「え!!もうついたの?」

と思ったくらい早かったです。そしてかみの毛もかわいていました。びっくりしました。

来年も行くのが楽しみにになりました。



楽しかった海

大平小学校

六年 鈴 木 蓮 人

今回のイベントで楽しかった事は三つあります。

一つめはシーカヤックです。昨年でもシーカヤックは体験したので、簡単に前や後ろに操作することができました。

二つ目は貝を取ったことです。シーカヤックを待っている時にチャンバラ貝という貝を、スバルさんやケンシロウさんなどといっしょに採りました。

三つ目は遊覧船に乗ったことです。

遊覧船では、カモメやトンビなどの餌やりなどをしました。そして船の外に出て綺麗な景色を見る事ができてうれしかったです。海の風がすごくすずしかったです。

また来年もクラブキッズに参加してシーカヤックを体験したいです。



シーカヤック



クリスマス会



もちつき



地域とつながる子ども会

子ども会は、子どもたちの成長にとって貴重な体験を提供する場です。

地域の仲間と交流しながら、協力や思いやりを学べる絶好の機会となります。例えば、イベントの企画や参加を通じて、リーダーシップや責任感を養うことができます。また、異なる年齢層の子どもたちと触れ合うことで、コミュニケーション能力が向上し、多様性を尊重する心が育まれます。さらに、地域行事や清掃活動などの経験は、地域社会とのつながりを感じるときっかけにもなります。

子ども会には、保護者や地域の人々のサポートも欠かせません。大人たちとの協力を通じて、子どもたちは「一人ではなく、みんなで成し遂げる」ことの大切さを理解します。楽しい思い出をつくるだけでなく、社会性やマナーを自然に身につける場所として、子ども会はおすすです。忙しい日常の中でも、参加する価値のある活動です。

ぜひ、地域の子ども会活動に目を向けてみてください。

子ども会活動を安全に行うために

全国子ども会安全共済会の年会費には共済掛金の他に賠償責任保険料が含まれています。

活動中に会員本人が負ったケガや病気の他に、誤って第三者にケガを負わせてしまったり、物を壊したりしたときも補償を受ける事ができます。

子どもや保護者のみなさんはもちろんですが、子ども会活動に携わる全ての方の安全、安心を考え、共済会加入を勧めます。

子ども会行事開始前から行事実施中にもKYT（危険予知トレーニング）を行い、事前の会場下見や、活動計画による安全・安心を確保しましょう。

危険予知トレーニング活動

「KYT」とはK（危険）、Y（予知）、T（トレーニング）の略です。

KYTは、自ら参加して、危険について考え、「自らの危険回避能力」を高め身に付けることが出来ます。育成者やジュニアリーダー、少年リーダーの中にKYT係を設けるなどして、日々の子ども会活動の中で活用して下さい。

沼子連では、今年も怪我・事故防止の観点からKYT活動に取り組みました。

※活動実績

- 5月10日 KYT講習会
（校区長・推薦理事対象）
- 5月25日 砂の造形大会KYT
- 11月9日 球技大会KYT

みんなで考えよう

子ども会活動



どこかぶないかな？
（状況）
元気にドッジボールをしています。



編集後記

今年度も無事にこぶしが発行できました。
ご協力頂きました関係各位の皆様ありがとうございました。
子ども会活動で様々な体験、経験をすることにより子ども達が人間性豊かで健やかに成長する事を願い、これからも地域で子ども達の成長を見守って頂きます様お願い申し上げます。

編集部一同

